

C11D 洗浄性組成物；単一物質の洗浄剤としての使用；石けんまたは石けん製造；樹脂石けん；グリセリンの回収

注

(1) このサブクラスの混合グループに分類するときは、こうした分類によっては特定されないが、それ自体が新規かつ非自明と判断される組成物の個々の成分は、グループ 1 / 0 0 から 9 / 0 0 に分類しなければならない。個々の成分は、単一の成分または組成物自体の何れかであり得る。[8]

(2) 上記注 (1) に従った分類によっては特定されないが、検索に有用な情報を表していると思われる組成物の成分は、グループ 1 / 0 0 から 9 / 0 0 に分類してもよい。例えばこれは、分類記号の組合わせを用いた組成物の検索が可能となることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は、「付加情報」として付与される。[8]

サブクラス内の索引

表面活性洗浄剤

非石けん.....	1/00, 3/00
石けんを基とするもの.....	9/00
非表面活性洗浄剤.....	7/00
洗浄剤混合物.....	10/00, 11/00
石けん製造; グリセリン.....	13/00, 15/00; 19/00
形状.....	17/00

表面活性非石けん性洗浄剤

1/00 本質的に表面活性化合物を基とする洗浄剤組成物；その化合物の洗浄剤としての用途

注

グループ C 1 1 D 1 / 0 2 ~ C 1 1 D 1 / 8 8 においては、ラストブレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、化合物は最後の適切な箇所に分類される。

- 1/02 ・陰イオン性化合物
- 1/04 ・カルボン酸またはその塩（石けん C 1 1 D 9 / 0 0 ）
- 1/06 ・エーテルまたはチオエーテルカルボン酸
- 1/08 ・窒素またはいおうを含まないポリカルボン酸
- 1/10 ・アミノカルボン酸；イミノカルボン酸；それらの脂肪酸縮合物
- 1/12 ・スルホン酸または硫酸エステル；それらの塩（C 1 1 D 3 / 0 6 5 が優先）
- 1/14 ・脂肪族炭化水素またはモノアルコールから誘導されるもの
- 1/16 ・2 価または多価アルコールから誘導されるもの
- 1/18 ・アミノアルコールから誘導されるもの
- 1/20 ・脂肪酸縮合物
- 1/22 ・芳香族化合物から誘導されるもの
- 1/24 ・核に直接結合したエステルまたはエーテル基を含むもの

- 1/26 ・複素環式化合物から誘導されるもの
- 1/28 ・脂肪酸またはその誘導体、例：エステル、アミド、から誘導されるスルホン化生成物
- 1/29 ・ポリオキシアルキレンエーテルの硫酸塩 [2]
- 1/30 ・リグニンから誘導されたスルホン化生成物
- 1/32 ・蛋白質加水分解物；その脂肪酸縮合物
- 1/34 ・りん酸からの誘導体
- 1/36 ・未知の構造のもの
- 1/37 ・すべてが陰イオン性である化合物の混合物
- 1/38 ・陽イオン性化合物
- 1/40 ・モノアミンまたはポリアミン；それらの塩
- 1/42 ・アミノアルコールまたはアミノエーテル
- 1/44 ・ポリオキシアルキレンとアミノアルコールとのエーテル；エポキシアルカンとアミンとの縮合生成物
- 1/46 ・カルボン酸とアミノアルコールとのエステル；アミノカルボン酸とアミノアルコールとのエステル
- 1/48 ・N-含有ポリ縮合生成物
- 1/50 ・尿素、チオ尿素、シアナミド、グアニジンまたはウレタンの誘導体
- 1/52 ・カルボン酸アミド、アルキロールアミドまたはイミド（C 1 1 D 3 / 0 7 が優先）
- 1/54 ・カルボン酸のヒドラジド
- 1/56 ・ニトロまたはニトロソ基を含むもの
- 1/58 ・複素環式化合物
- 1/60 ・スルホニウムまたはホスホニウム化合物
- 1/62 ・第四級アンモニウム化合物
- 1/64 ・未知の構造のもの
- 1/645 ・すべてが陽イオン性である化合物の混合物
- 1/65 ・陽イオン性化合物と陰イオン性化合物の混合物
- 1/655 ・カルボン酸のアルキロールアミドとスルホン化生成物の（C 1 1 D 3 / 0 6 6 が優先）
- 1/66 ・非イオン性化合物
- 1/68 ・アルコール；酸以外のパラフィンワックスの酸化生成物
- 1/70 ・フェノール
- 1/72 ・ポリオキシアルキレングリコールのエーテル（C 1 1 D 3 / 0 7 5 が優先）
- 1/722 ・混成オキシアルキレン基を含むポリオキシアルキレンのエーテル [2]
- 1/74 ・ポリオキシアルキレングリコールのカ

C 1 1 D

	ルボン酸またはスルホン酸のエステル
1/75	・ ・ アミノキシド [2]
1/755	・ ・ スルホキシド [2]
1/76	・ ・ 窒素を含まない合成樹脂
1/78	・ ・ りんからの酸の中性エステル
1/79	・ ・ ホスフィンオキシド [2]
1/80	・ ・ スルホン酸または硫酸塩基を含まない リグニン誘導体
1/82	・ ・ けい素含有化合物
1/825	・ ・ すべてが非イオン性の化合物の混合物
1/83	・ ・ 陰イオン性化合物と非イオン性化合物 の混合物
1/831	・ ・ ・ りん酸塩を有せずポリオキシアルキ レンのエーテルとスルホン酸塩との混合 物
1/835	・ ・ 陽イオン化合物と非イオン性化合物の 混合物
1/86	・ 陰イオン性, 陽イオン性および非イオン 性化合物の混合物
1/88	・ 両性電解質; 電気的中性化合物 [2]
1/90	・ ・ ペタイン [2]
1/92	・ ・ スルホペタイン [2]
1/94	・ ・ 陰イオン性, 陽イオン性または非イオ ン性化合物との混合物 [2]
3/00	1 / 0 0 に包含される洗浄性組成物の他の 配合成分

注

グループC 1 1 D 3 / 0 2 ~ C 1 1 D 3 / 3 9 においては,ラ
ストブレイス優先ルールが適用される,すなわち各階層レベル
において相反する指示がない限り,化合物は最後の適切な箇所
に分類される。[2]

3/02	・ 無機化合物
3/04	・ ・ 水溶性化合物
3/06	・ ・ ・ りん酸塩, ポリりん酸塩
3/065	・ ・ ・ ・ スルホン化生成物との混和物中の
3/066	・ ・ ・ ・ ・ および, カルボン酸のアルキロ ールアミドとの
3/07	・ ・ ・ ・ カルボン酸のアルキロールアミド との混和物中の
3/075	・ ・ ・ ・ ・ ポリオキシアルキレンのエーテル との混和物中の
3/08	・ ・ ・ けい酸塩
3/10	・ ・ ・ 炭酸塩
3/12	・ ・ 非水溶性化合物
3/14	・ ・ ・ 顔料; 充てん剤; 研磨剤
3/16	・ 有機化合物
3/18	・ ・ 炭化水素
3/20	・ ・ 酸素を含むもの
3/22	・ ・ ・ 炭水化物またはその誘導体
3/24	・ ・ ハロゲンを含むもの
3/26	・ ・ 窒素を含むもの
3/28	・ ・ ・ 環に窒素を含む複素環式化合物
3/30	・ ・ ・ アミン; 置換アミン

3/32	・ ・ ・ アミド; 置換アミド
3/33	・ ・ ・ アミノカルボン酸 [2]
3/34	・ ・ いおうを含むもの
3/36	・ ・ りんを含むもの
3/37	・ ・ 重合体 [2]
3/38	・ ・ 組成が明確でない生成物
3/382	・ ・ ・ 植物性生成物, 例: 大豆粉, 木粉, おがくず [2]
3/384	・ ・ ・ 動物性生成物 [2]
3/386	・ ・ ・ 酵素を含有する調製品 [2]
3/39	・ 有機または無機の過化合物 [2]
3/395	・ 漂白剤 [2]
3/40	・ 染料 [2]
3/42	・ ・ 光輝剤 [2]
3/43	・ 溶媒 [2]
3/44	・ ・ 混合溶媒
3/46	・ 過脂肪剤 [2]
3/48	・ 医薬または殺菌剤 [2]
3/50	・ 香料 [2]
3/60	・ 配合成分の混合物 [2]

7/00 本質的に非表面活性化合物を基とする洗浄
剤組成物

注

グループC 1 1 D 7 / 0 2 ~ C 1 1 D 7 / 2 2 においては,ラ
ストブレイス優先ルールが適用される,すなわち各階層レベル
において相反する指示がない限り,化合物は最後の適切な箇所
に分類される。

7/02	・ 無機化合物
7/04	・ ・ 水溶性
7/06	・ ・ ・ 水酸化物
7/08	・ ・ ・ 酸
7/10	・ ・ ・ 塩
7/12	・ ・ ・ ・ 炭酸塩
7/14	・ ・ ・ ・ けい酸塩
7/16	・ ・ ・ ・ ・ ポリりん酸塩を含むりん酸塩
7/18	・ ・ 過酸化物; 過酸塩
7/20	・ ・ 非水溶性酸化物
7/22	・ 有機化合物
7/24	・ ・ 炭化水素
7/26	・ ・ 酸素を含むもの
7/28	・ ・ ハロゲンを含むもの
7/30	・ ・ ・ ハロゲン化炭化水素
7/32	・ ・ 窒素を含むもの
7/34	・ ・ いおうを含むもの
7/36	・ ・ りんを含むもの
7/38	・ ・ 過化合物
7/40	・ ・ 組成が明確でない生成物
7/42	・ ・ ・ 酵素を含む調製品
7/44	・ ・ ・ 植物性生成物 (C 1 1 D 7 / 4 2 が 優先)
7/46	・ ・ ・ 動物性生成物 (C 1 1 D 7 / 4 2 が 優先)

- 7/50 ・ 溶剤 [2]
- 7/52 ・ ・ 促進剤と結合したもの [2]
- 7/54 ・ 漂白剤 [2]
- 7/56 ・ ・ りん酸塩と結合したもの [2]
- 7/60 ・ 非表面活性化合物の混合物 [2]

石けん洗剤

- 9/00 本質的に石けんを基とする洗剤組成物
(樹脂石けんを含む組成物 C 1 1 D 1 5 / 0 4)
- 9/02 ・ アルカリまたはアンモニウム石けんを基とするもの
- 9/04 ・ 石けん以外の配合成分を含むもの

注

グループ C 1 1 D 9 / 0 6 ~ C 1 1 D 9 / 4 2 においては , ラストプレース優先ルールが適用される , すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り , 化合物は最後の適切な箇所に分類される。

- 9/06 ・ ・ 無機化合物
- 9/08 ・ ・ ・ 水溶性化合物
- 9/10 ・ ・ ・ ・ 塩
- 9/12 ・ ・ ・ ・ ・ 炭酸塩
- 9/14 ・ ・ ・ ・ ・ りん酸塩 ; ポリりん酸塩
- 9/16 ・ ・ ・ ・ ・ ほう酸塩
- 9/18 ・ ・ ・ 水不溶性化合物
- 9/20 ・ ・ ・ ・ 顔料 ; 充てん剤 ; 研磨剤
- 9/22 ・ ・ 有機化合物
- 9/24 ・ ・ ・ 炭化水素
- 9/26 ・ ・ ・ 酸素を含むもの
- 9/28 ・ ・ ・ ハロゲンを含むもの
- 9/30 ・ ・ ・ 窒素を含むもの
- 9/32 ・ ・ ・ いおうを含むもの
- 9/34 ・ ・ ・ りんを含むもの
- 9/36 ・ ・ ・ けい素を含むもの
- 9/38 ・ ・ ・ 組成が明確でない生成物
- 9/40 ・ ・ ・ 蛋白質
- 9/42 ・ ・ 過化合物
- 9/44 ・ ・ 香料 ; 着色剤 ; 増白剤
- 9/48 ・ ・ 過脂肪剤
- 9/50 ・ ・ 医薬または殺菌剤
- 9/60 ・ ・ 配合成分の混合物 [2]

- 10/00 メイングループ C 1 1 D 1 / 0 0 ~ C 1 1 D 9 / 0 0 のいずれの単一のメイングループにも分類されない洗剤組成物 [2]
- 10/02 ・ 表面活性非石けんと非表面活性化合物との混合物に基づくもの [2]
- 10/04 ・ 表面活性非石けん化合物と石けんとの混合物に基づくもの [2]
- 10/06 ・ 非表面活性化合物と石けんとの混合物に基づくもの [2]
- 11/00 洗剤の混合物を含有する組成物を製造する特殊な方法

- 11/02 ・ 噴霧乾燥による粉末の製造
- 11/04 ・ 化学的手段によるもの , 例 . 中和に先立って他の配合成分の存在下でのスルホン化

石けんおよび石けん製造 ; 樹脂石けん

- 13/00 石けんまたは石けん溶液の製造一般 ; そのための装置 (樹脂石けん C 1 1 D 1 5 / 0 0)
- 13/02 ・ 石けん煮沸 ; 精製
- 13/04 ・ ・ そのための連続法
- 13/06 ・ ・ 石けんまたは石けん溶液の漂白
- 13/08 ・ 着色または賦香
- 13/10 ・ 混合 ; ねり合わせ
- 13/12 ・ 冷却 (C 1 1 D 1 3 / 1 4 が優先)
- 13/14 ・ 成形
- 13/16 ・ ・ 型の中での成形
- 13/18 ・ ・ 押し出したりは加圧による成形
- 13/20 ・ ・ 小さな粒子 , 例 . 粉末 , フレーク , の形態
- 13/22 ・ 切断
- 13/24 ・ ・ 冷却ドラム上での石けんのスライシング
- 13/26 ・ 乾燥
- 13/28 ・ エンボシング ; ポリッシング
- 13/30 ・ 石けんの回収 , 例 . 余剰溶液からの
- 15/00 樹脂石けんまたはナフテン酸から誘導された石けん類の製造 ; 組成物
- 15/02 ・ そのための装置
- 15/04 ・ 樹脂石けんまたはナフテン酸から誘導された石けんを含む組成物
- 17/00 形状または物理的性質に特徴がある洗剤性物質または石けん (石けんの成形 C 1 1 D 1 3 / 1 4)
- 17/02 ・ 洗剤の浮遊基体
- 17/04 ・ 他の物体と結合したまたはそれを含むもの
- 17/06 ・ 粉末 ; フレーク ; 自由流動性混合物 ; シート
- 17/08 ・ 液体石けん ; カプセル化されたもの
- 19/00 けん化液からのグリセリンの回収